



花で彩られる農村の景観



～農地・水保全管理支払交付金事業の活動を紹介～

現在全国的に集落の高齢化や混在化の進行により、農地や農業用水などの資源を守る地域のまとまりが弱まってきております。このような状況下で、農村環境を地域ぐるみで保全し、故郷の農村風景を守っていくことを目的として実施されている、農地・水保全管理支払交付金事業が、5年を経過し、制度も新たに再スタートしました。

本年度より、毛成・新・郡の3集落が新たに本事業の仲間に加わり、計10集落が本事業に取り組んでおります。農道の補修や除草・用水の泥上げ等を共同で実施することにより、農村環境資源を保全するだけでなく、集落の結びつきが強まることにもつながっております。

本事業は、農村環境資源を魅力あるものにするために、農地や農道等を利用した花の植栽等の景観形成も行っており、取組の一部を紹介します。



郡地区）農道路肩の延長約400mにコスモスが花開きました。電車の車窓からも見ることができ、乗客の目を楽しませました。



毛成地区）通学路にもなっている町道沿いの農用地法面にヒマワリ等の花きが植栽され、通学途中の児童・生徒にも憩いを与えました。



新地区）農道法面を利用してコスモス等を植栽しました。同所には菜の花も植栽されており、暖くなれば黄色い花が顔を出すことでしょう。



武田地区）県道沿いの遊休農地に、武田の女性団体ダイヤモンドの皆さんを中心にパンジー等が植栽され、可憐な花を咲かせました。